

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第723号]

2014
2-3

- 2「博物館でお花見を」 3春の庭園開放／特別展「支倉常長像と南蛮美術——400年前の日欧交流——」
4「クリーブランド美術館展——名画でたどる日本の美——」／特別展「キトラ古墳壁画」
5「人間国宝展——生み出された美、伝えゆくわざ——」 6特別展「栄西と建仁寺」

7-11 総合文化展 見どころ案内 2014年2月・3月／本館／東洋館・平成館・法隆寺宝物館

11 保存と修理情報② 12-13 みどりのライオン 教育普及事業 [講演会／ワークショップ・見学ツアー／アートスタジオ ほか]

14 INFORMATION 本館 15～19 室リニューアル、いよいよ4月15日にオープン！ 15 TOPICS

博物館でお花見を

庭園の桜、名品の桜。世界一贅沢なお花見をトータルで。

心華やぐ桜の季節がやってきました！

可憐なカワヅザクラに始まって、シダレが見事なエドヒガン、

縮れた花びらがかわいいうエビニヒガン、白い花のオオシマザクラ、そして緑のギョイコウ。

いく種類もの桜がつぎつぎと花を咲かせる庭園。

そして、絵画はもちろん、うつわやきもの、漆芸など、

日本美術の名品に桜満開の展示室。

今年もトータルにしかない、贅沢なお花見をお楽しみください。

サクラサク名品。

今年の目玉は王朝物語の世界

「源氏物語絵合・胡蝶図屏風」

『源氏物語』の中から桜の季節を題材とした「絵合」帖を右隻に、「胡蝶」帖を左隻に選んで大きく描いています。「絵合」は、うららかな春の日に梅壺女御と弘徽殿女御が冷泉帝の御前で絵合を競う場面。「胡蝶」は、秋好中宮(梅壺女御)の春の仏事に、蝶の装束をした女童が紫の上の贈った関枷棚に供える花を持って来た場面です。

金箔砂子を贅沢に使って鮮やかに彩られた屏風には、桜の花びらが舞い、華やかな王朝物語の世界が展開しています。描いたのは、江戸城障壁画制作でも活躍した木挽町狩野家第九代当主狩野養信。落款に「法眼」と記されていることから文政二年(一八一九)から天保五年(一八三四)の間に描かれたことがわかります。(田沢裕賀)

桜の名品は
ほかにも
たくさんあるのよ



1 源氏物語絵合・胡蝶図屏風のうち 胡蝶図(部分)

狩野晴川院(養信)筆 江戸時代・19世紀 本館8室(2/25~4/20)
春爛漫。蝶の装束の女童が舞うあでやかなシーン

2 小袖 紅綸子地八重桜土筆蒲公英燕模様

江戸時代・19世紀 本館10室(2/25~4/20)
たなびく雲に春の訪れを告げる燕、桜、春草を総刺繍で描きました

3 桜楓時絵印籠

明治時代・19世紀 本館10室(2/25~4/20)
桜咲く川辺にセキレイが遊ぶ風景を描く印籠。裏面は秋の楓を表しています

4 瓢形酒入

船田一琴作 江戸時代・天保14年(1843) 本館8室(3/18~4/20)
肩には雲間の月を銀象嵌で、銅には鍍金(金メッキ)の桜花をちらしています

5 色桜桜樹図透鉢

仁阿弥道八作 江戸時代・19世紀 本館13室(3/4~5/25)
鉢の内にも外にも満開の桜の樹を描いています。巧みにされた透しを通して、反対面の桜がのぞく心憎い仕掛け

関連イベント

列品解説

桜に関連した作品について、研究員が解説します。

「絵画に咲く桜」

3月19日(水) 14:00~14:30 本館8室

講師:本田光子[絵画・彫刻室研究員]

「着物に咲く桜」

3月26日(水) 14:00~14:30 本館10室

講師:佐々木佳美[登録室アソシエイトフェロー]

「屏風に咲く桜」

4月2日(水) 14:00~14:30 本館7室

講師:山下善也[絵画・彫刻室主任研究員]

「桜でつくられた仏像」

4月9日(水) 14:00~14:30 本館11室

講師:浅見龍介[東洋室長]

研究員さんが
解説して
くれるのよ



東博句会「花見で一句」

当館の庭園や作品の桜について、一句詠んでみませんか? 構内に設置してある投句ポストで応募できます。入選作品:本誌8・9月号、当館ウェブサイトにて発表、記念品を贈呈いたします。

桜ワークショップ

「ぬり絵 日本のデザイン、色づかい」

桜を表した作品のぬり絵をつくりました。思い思いに色をつけ、自分だけの作品をつくりましょう。展示室では作品の色づかいに注目してみてください。3月29日(土)、3月30日(日)、4月5日(土)、4月6日(日) 11:00~15:00 平成館ラウンジにて 参加費:無料(ただし、当日の入館料は必要) *当日受付。随時参加。ただし、ぬり絵シートがなくなり次第終了とさせていただきます。

さくさく
ほくのほっぺも
ピンクだよ



桜セミナー「動物博士とみる

美術になった動物、ならなかった動物」

春だ、桜だ、お花見だ! 上野公園へ行こう! ということで、上野動物園、国立科学博物館との連携企画を実施します。生態解説のスペシャリストと共に、美術になった動物とならなかった動物についてそれぞれの視点をお話します。

3月29日(土) 13:30~15:00 平成館大講堂

講師:小泉祐里[(公財)東京動物園協会恩賜上野動物園動物解説員]

川田伸一郎[国立科学博物館 動物研究部研究員]

神辺知加[東京国立博物館 教育講座室主任研究員]

定員:380名(先着順)

聴講料:無料(ただし、当日の入館料は必要)

*開場は開始の30分前(予定より早める場合もございます)

美術に
ならなかった
動物って
なにかしら?



パンダ
だよ!





支倉常長像

アルキータ・リッチ作 17世紀

イタリア・個人蔵

ヨーロッパ人画家によって描かれた、もっとも古い「武士」の肖像としても貴重です

描いたとされる「支倉常長像」を
め、ローマに入市した際の姿を
教皇パウロ五世に謁見するた
渡航した支倉常長。彼がローマ
遣欧使節としてヨーロッパに
主伊達政宗の命を受け、「慶長
主伊達政宗の命を受け、「慶長
遣欧使節」としてヨーロッパに
渡航した支倉常長。彼がローマ
教皇パウロ五世に謁見するた
め、ローマに入市した際の姿を
描いたとされる「支倉常長像」を

このたび特別に公開します。
刀を佩き、レースのあるヨー
ロッパ風のシャツの上に薄模様の
小袖と袴、鹿などをあしらった
胴着を着た「和洋折衷」の支
倉を油彩でカンバスに描きま
す。同時代のヨーロッパ絵画に
おける王侯の肖像画形式に則り、

ほぼ等身大で描かれています。
本図の公開にあわせ、「南蛮
人渡来図屏風」「世界図屏風」
(いずれも重要文化財)という、
四百年前の日欧交流の軌跡を示
す南蛮美術の優品も展示しま
す。この特別な機会をお見逃し
なく。

特別展「支倉常長像と南蛮美術 —400年前の日欧交流—」

主催:東京国立博物館 特別協力:文化庁、イタリア大使館
協力:仙台市博物館 お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600
当館ウェブサイト: <http://www.tnm.jp/>
※総合文化展料金でご覧いただけます

特別展

はせくらつねなが 支倉常長像と南蛮美術

—400年前の日欧交流—

ヨーロッパが見た支倉常長と日欧交流の軌跡

本館7室

2月11日
(火・祝)
—
3月23日
(日)

■ ボランティアによるガイドツアー

陶磁、彫刻、庭園茶室、樹木など、各種テーマによるガイドツアーに本館ハイ
ライトとたんけんマップのコラボツアーも開催。桜にちなんだ作品や見ごろの
桜をご案内します。詳細日程(3月分)は本誌巻末のカレンダーをご覧ください。

■ ボランティアによる応挙館桜茶会

庭園の応挙館でお茶をどうぞ。事前申込制。

3月22日(土) ①11:00～12:00、②13:00～14:00

(各回とも60分、同じ内容)

定員:各回20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:500円(ただし、当日の入館料は必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな(2)参加者全員
の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください)、(3)代表者の電話番号、(4)
希望の回(①か②のいずれか)、(5)座いすが必要な方はその旨を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・
住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

*一枚のはがきで、①②のどちらか一方、最大2名まで申込可。

申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「3月22日応挙館桜茶会」係

申込締切:2014年2月24日(月)必着

*荒天の場合は中止することもあります。

■ コンサート

東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森 2014—

2009年からの恒例「ミュージアム・コンサート 東博でパッハ」を
お楽しみください。

① 東博でパッハvol.17 福田進一(ギター)

日時:3月15日(土)14:00～(開場13:30)

曲目:J.S. パッハ:無伴奏チェロ組曲(ギター版)全曲

② 東博でパッハvol.18 三浦文彰(ヴァイオリン)

日時:3月19日(水)19:00～(開場18:30)

曲目:J.S. パッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第2番 イ短調 BWV1003 ほか

③ 東博でパッハvol.19 山崎伸子(チェロ)&小林道夫(チェンバロ)

日時:3月26日(水)19:00～(開場18:30)

曲目:J.S. パッハ:ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ ニ長調 BWV1028 ほか

④ 東博でパッハvol.20 川崎洋介(ヴァイオリン)

日時:4月1日(火)19:00～(開場18:30)

曲目:J.S. パッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006 ほか

⑤ 東博でパッハvol.21 ウェン=シン・ヤン(チェロ)

日時:4月10日(木) 開演19:00 開場18:30

曲目:J.S. パッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007 ほか

会場:①平成館ラウンジ、②③④⑤法隆寺宝物館エントランスホール

料金:①5,000円(全席自由)、②③④⑤3,500円(全席自由)

チケット:東京・春・音楽祭 <http://www.tokyo-harusai.com/>

東京文化会館チケットサービス TEL03-5685-0650 ほか

主催:東京・春・音楽祭実行委員会

共催:東京国立博物館

■ 桜コンサート「桜の街の音楽会」

東京・春・音楽祭参加アーティストによる無料コンサート(各20分程度)

① Vive! サクソフォーン・クワルテット

3月18日(火)11:00～、4月6日(日)11:00～

正門内池前 ※雨天の場合は本館エントランス

② 加藤えりな(ヴァイオリン)

3月25日(火)13:00～

法隆寺宝物館エントランスホール

③ 林はるか(チェロ)

4月1日(火)13:00～

法隆寺宝物館エントランスホール

料金:無料(ただし当日の入館料は必要です)

主催:東京・春・音楽祭実行委員会

共催:東京国立博物館

<http://www.tokyo-harusai.com/>

お問合せ:東京・春・音楽祭実行委員会 TEL03-3296-0600

春の庭園開放 3月8日(土)～4月13日(日)



本館北側の庭園を開放します。
静かな桜の庭園をお楽しみくだ
さい

10:00～16:00

*荒天により中止になる場合が
あります

※屋外で実施予定の事業は、雨天の場合中止、または会場が変更になる場合があります。

※ご応募の際ご提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。

※当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに、参加可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性も
ありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL03-3822-1111(代表)

トーハクの花見が
10倍楽しくなる
9つのガイドツアー。
ボランティアパワー
全開だほ



3



4



5

クリーブランド 美術館展

名画でたどる日本の美

Admired from Afar: Masterworks of Japanese Painting from
The Cleveland Museum of Art

平成館 特別展示室第1・2室

1月15日(水) — 2月23日(日)

アメリカ・クリーブランド美術館の
所蔵品による、
日本絵画千年の美から、
「鳶の細道図屏風」をご紹介します。

二つの「鳶の細道図屏風」。
どこが違うの？

今このページに並んでいる二つの図版。同じ写真を間違えて載せているわけではありません。いずれも江戸時代中期、尾形光琳に学んだ深江蘆舟が描いた「鳶の細道図」という作品で、上はクリーブランド美術館蔵、下は東京国立博物館蔵です。よく見比べてみると、構図はおおむね共有しながら、異なる点がいくつかあります。画面右下が水流か山かと

いう点をはじめ、従者と馬のポーズなどです。

「鳶の細道図」は、在原業平をモデルとするある男が東下りする際に、駿河国(今の静岡県)で出会った修行者に都の恋人宛の和歌を託すという「伊勢物語」宇津山に取材したものの。二つの屏風の最も大きな違いは修行者のポーズ。東博本では去りゆく修行者の背を男が見つめる構図となっており、都から遠く離れた地での、男の孤独と寂寥感がより強調されています。

クリーブランド美術館展にあわせ、本館8室では東博本「鳶の細道図」を展示します。この二点が同時に公開されるまたとない機会。特別展の後は総合文化展にぜひお運び下さい。

(土屋貴裕)

「クリーブランド美術館展 — 名画でたどる日本の美」

主催:東京国立博物館、クリーブランド美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
協賛:住友ナコ マテリアル ハンドリング、日本写真印刷、ハイスター=エール・マテリアル・ハンドリング
協力:国際交流基金、全日本空輸、日本貨物航空
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600
展覧会ホームページ:
<http://www.nichibisai.jp/>



上:鳶の細道図屏風

深江蘆舟筆 江戸時代・18世紀
クリーブランド美術館蔵 John L. Severance Fund 1954.12
Photography © The Cleveland Museum of Art

下:○鳶の細道図屏風

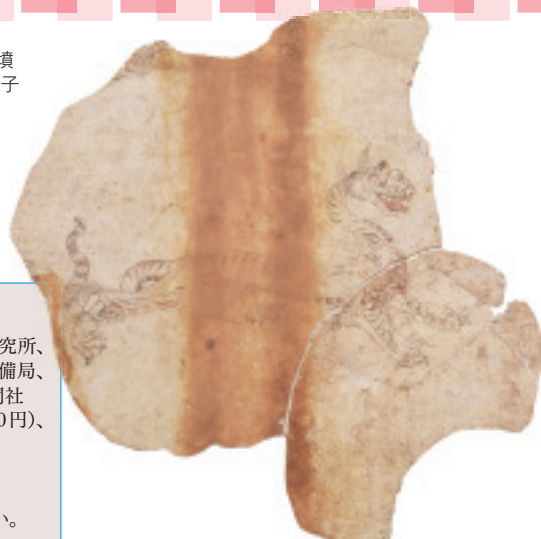
深江蘆舟筆 江戸時代・18世紀 東京国立博物館蔵 本館8室 1月15日～2月23日
もうほとんど見えない修行者を、いつまでも見つめる業平。山陰へと去って行く修行者の姿などに注目して、二つの屏風を見比べてみてください



キトラ古墳
内部の様子

特別展「キトラ古墳壁画」

主催:文化庁、東京国立博物館、東京文化財研究所、奈良文化財研究所、国土交通省近畿地方整備局、奈良県教育委員会、明日香村 共催:朝日新聞社
観覧料:一般900円(800円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)、中学生以下無料
*()内は前売・20名以上の団体料金
*障がい者とその介護者1名は無料です。
入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600
当館ウェブサイト:<http://www.tnm.jp/>



西壁に描かれている白虎(写真提供:奈良文化財研究所)

特別展 キトラ 古墳壁画

4月22日(火)～5月18日(日)

本館特別5室

前号でお知らせしたキトラ古墳壁画の公開期間と展示される壁画部分が決定いたしました。展示されるのは、四方の壁面に描かれた四神のうち、朱雀・白虎・玄武と、十二支像のうち子・丑です。キトラ古墳壁画が、明日香村以外で公開されるのは初めての事です。この機会をぜひお見逃しなく。

(齊藤孝正)



木綿地型絵染 野草笹匹田模様着物

稲垣穂次郎 昭和30年(1955) 京都国立近代美術館蔵

型紙を使った伝統的な染め模様は、同じ模様の繰り返しです。稲垣はその常識から解放され、複数の型紙を組み合わせて、着物に絵画的なデザインを構成する「型絵染」を生み出しました。デザインインスピレーションは安土桃山〜江戸時代の小袖から得ています。(小山弓弦葉)

小山 研究員 オススメ
今見ても斬新。異なるデザインの融合

日本伝統工芸展60回記念

人間国宝展

生み出された美、伝えゆくわざ

The 60th Japan Traditional Kōgei Exhibition
Engendering Beauty, Preserving Techniques: Artworks by
Living National Treasures

平成館 特別展示室第3・4室

1月15日(水)〜2月23日(日)

人間国宝の作品を、
こんなにたくさん
一度に見たことがありますか?
今回は出品作品のなかから
オススメの作品を研究員がご紹介します。
ニッポンの美、ここに極まれり!



赤とんぼ時絵箱
松田権六作
昭和44年(1969)
京都国立近代美術館蔵

「うるしの神様」漆聖と崇められる松田権六の、円熟期の代表作。素地には桐の柾目材を用い、表面炭化と熱処理を加えて、木材の収縮による変形を防いでいます。古くからある表面炭化の手法の後さらに長時間加熱して、松田は万全を期したのです。気候の異なる海外での使用に耐えうる漆芸品の開発を急務と考えていた、松田ならではの工夫でした。(竹内奈美子)

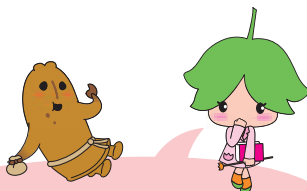
竹内 研究員 オススメ
漆聖が描く、優美さと緊張感



練上嘯裂茜手大壺
「深山紅」
松井康成作
昭和56年(1981)
茨城県陶芸美術館蔵

二色以上の陶土を組み合わせ、積み重ね、その断面模様を器の表面として成形する、練上技法による大壺です。「嘯裂」とは、表面にできる細かな亀裂のこと。成形の際に生じる器表面のひび割れを、意図的に模様として生かすという逆転的な発想から生まれた表現技法は、松井が独自に切り拓いた練上表現の一つです。(横山梓)

横山 研究員 オススメ
土の質感と、色彩溢れる練上の美



日本伝統工芸展 60 回記念 「人間国宝展—生み出された美、伝えゆくわざ—」

主催:東京国立博物館、文化庁、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社、日本工芸会
協賛:花王、日本写真印刷

特集陳列「人間国宝の現在」

現役で活躍中の人間国宝の作品を一室に展示します。
1月15日(水)〜2月23日(日)
平成館1階 企画展示室
*総合文化展料金でご覧いただけます

ユリノキちゃん のワンポイントコーナー!

Q.「人間国宝」ってなあに?

A.「人間国宝」とは、「重要無形文化財の保持者」の通称です。工芸技術などの無形の文化的所産で、歴史上・芸術上価値の高いもののなかでも特に重要なものが「重要無形文化財」に指定され、これらのわざを高度に体得しているひとが「重要無形文化財の保持者」に認定されるの。伝統のわざでニッポンの美を極めた人間国宝! カッコいい!

「クリーブランド美術館展」 「人間国宝展」2展共通知報

- 東京国立博物館開催の2展共通観覧料金
一般1,600円(1,400円)、大学生1,400円(1,200円)、
高校生1,000円(800円) 中学生以下無料
*()内は20名以上の団体料金
*障がい者とその介護者一名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600
展覧会ホームページ:<http://www.nichibisai.jp/>
- 観覧料金(単独)
一般1,000円(800円)、大学生800円(600円)、
高校生600円(400円) 中学生以下無料
*()内は20名以上の団体料金

開山・栄西禪師
800年遠忌

特別展

栄西と建仁寺

The 800th
Memorial of Yōsai
Roots of Zen:
Yōsai and
the Treasures
of Kenninji

栄西禪師(二四二〜二三五)ならびに建仁寺ゆかりの宝物が一堂に。
本展覧会の見どころを今号と次号の二回に分けてご紹介します。
今回は栄西と建仁寺ゆかりの僧についてです！

栄西は、岡山に生まれ、十四歳で比叡山で受戒し、天台と密教を学びました。二十八歳と四十七歳の二度、宋に渡ります。二回目の入宋で、虚庵懷敞のもとで禅の修行をおこない、建久二年(一一九二)に帰国しました。京都に建仁寺を開いたのち、重源の跡をついで東大寺再建にも力を尽くしました。本展覧会では二回目の入宋を前にした密教関係の解説書や、東大寺大勧進としての自筆書状、禅や茶に関する著述を展示し、栄西の幅広い活動を紹介します。

(田沢裕賀)



上: 明庵栄西像 絶海中津賛

室町時代・14～15世紀 京都・両足院蔵

全期間展示

現存最古の栄西画像。頭部が個性的に表現されています

右: 中蔵円月坐像

南北朝時代・14世紀 京都・霊源院蔵

全期間展示

顕蜜二教を修めたのち禅宗に転じ、元への渡航を経て諸寺を歴とした中蔵の老相が迫真性を持って彫り出されています

下: 誓願寺孟蘭盆一品経縁起

栄西筆 平安時代・治承2年(1178) 福岡・誓願寺蔵

展示期間: 3月25日(火)～4月6日(日)

舶載の華麗な唐紙に宋の黄山谷流の筆致を示す栄西の数少ない遺墨



開山・栄西禪師800年遠忌 特別展「栄西と建仁寺」

主催: 東京国立博物館、建仁寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション
協賛: ジェイティービー、日本写真印刷
観覧料金: 一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* () 内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。

* 障がい者とその介護者1名は無料。

* 前売券は、3月24日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式ホームページほか、主要プレイガイドにて販売。

お問合せ:

ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ:

<http://yosai2014.jp/>

関連イベント

記念講演会

①「栄西と茶の歴史」

日時: 4月12日(土) 13:30～15:00

講師: 千宗屋氏(武者小路千家 家元後嗣)

②「建仁寺ゆかりの美術」

日時: 4月19日(土) 13:30～15:00

講師: 田沢裕賀(絵画・彫刻室長)

会場: 東京国立博物館 平成館大講堂

定員: 380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講料: 無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要です。半券でも可。その場合は別途入館料が必要)

申込方法: 往復はがきの[往信用裏面]に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号、[返信用表面]に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込みください。※1枚のはがきで1つの講演会につき最大2名まで申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先: 〒116-0013 日本郵便荒川支店私書箱22号

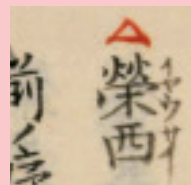
「栄西と建仁寺」講演会(希望する講演会番号①②のいずれか)係

申込締切: ①2月24日(月) ②3月3日(月) 消印有効

ユリノキちゃんのワンポイントコーナー!

Q. 栄西は、えいさい、ようさい?

A. 建仁寺では、江戸時代の東叡というお坊さんがあらわした「興禅護国論和解」にもとづいて、『ようさい』と読んでいるの。今回の展覧会ではこの読み方も建仁寺の文化のひとつとして、『えいさい』ではなく『ようさい』と読んでいるのよ。もちろん『えいさい』と読んでも間違いじゃないわ。



興禅護国論和解(部分)
高峰東叡著
江戸時代・18世紀
京都・両足院蔵

本館 2 室 国宝室

日本肖像画史上の最高傑作

国宝 伝藤原光能像

2月25日(火)～3月23日(日)



●伝藤原光能像
鎌倉時代・13世紀
京都・神護寺蔵
端正な面持ち、その画面の大きさは、見る者を圧倒する何かを秘めています

笏を持ち、刀を佩き、束帯姿の人物が畳に坐しています。継ぎ目の無い大幅の一枚絹にほぼ等身大で描かれた、他に類例を見ない画像です。日本肖像画史上、最高傑作の一つと言いうことができます。伝源頼朝像、伝平重盛像とともに京都・神護寺に伝わった画像です。本図の展示にあわせ、2月11日(火・祝)から3月23日(日)の本館3室では、伝頼朝・重盛・光能像の模本をはじめ、同じく神護寺に伝わる文覚上人像などの高僧像や、禅宗の頂相など中世の肖像画を一挙公開。どうぞお見逃しなく。

(土屋貴裕)

本館 5 室 武士の装い

武将だって、おしゃれしたい

重文 黒韋肩妻取威胴丸

3月23日(日)まで



●黒韋肩妻取威胴丸
室町時代・15世紀
三つ鍬形の前立をつけた室町時代の華やかな胴丸

右脇引合せの胴に兜、袖を加えた胴丸で、室町時代の武将に好んで用いられた形式です。この胴丸は威の配色が珍しく、鹿草を藍で濃く染めた黒草威を主体に、胴や袖の上二段を白糸で肩取威とし、草摺や袖の一端は紅糸を三角形に配して妻取威とした肩妻取威です。さらに胴の中央にも紅糸を裾広がり用いています。兜の鍬形台をはじめ金物は、枝菊の透彫。黒草に白・紅糸、金の金物という当初の華やかな姿も想像しつつご覧ください。(池田宏)

本館 11 室 彫刻

桜の木から生まれました

如意輪観音菩薩坐像

3月4日(火)～6月8日(日)



如意輪観音菩薩坐像
平安時代・11世紀
奈良・西大寺蔵
側面も見てください。肩には美しい髪が垂れています

像の背後にある光背と、欠けている右手首先、左肘より先を除くすべてを一つの桜の木から造っています。耳の後ろや、左肩、肘から垂れる細い帯状の布も別の木を貼ることなく彫り出しています。頭上の冠、衣の縁や衣文の彫りがくつきりして、古い仏像にありがちな摩耗がまったくありません。桜の木は堅くて丈夫なのです。その性質から、浮世絵や本の版木に用いられました。光背の緻密な彫りもみどころの一つです。

非常に重いことと堅くて彫りにくいせい、桜材製の仏像はあまりありません。

(浅見龍介)

本館 14 室 彫刻 ほか

「かわいい」雛の世界へ

特集陳列 おひなさまと雛の世界

2月18日(火)～3月23日(日)

三月三日は上巳の節供と称され、旧暦では桃の花が咲く頃にあらたることから、桃の節句とも呼ばれています。江戸時代以降、女の子の健やかな成長を祈って雛人形を飾る風習が広まりました。当館には、江戸時代中期から後期にかけて人々にいつくしまれてきた雛人形の数々が所蔵され、毎年、ひなまつりの季節にお飾りして皆様と共に桃の節供をお祝いたします。紙雛や室町雛、関東好みの古今雛、象牙でできた首が珍しい牙首雛や地方の特色あふれる雛人形などを通して見ていきますと、日本人が小さく愛らしいものをいつくしんだ歴史がしのべれます。

今年度は、江戸時代の人々が公家装束をミニチュアで制作した装束雛形を併せて展示し、「かわいい」日本の「雛形」文化の一端をご紹介します。

(小山弓弦葉)



いぬぼに犬宮
江戸時代・19世紀
高橋しな子氏寄贈
多産安産を願う犬宮。雛人形と一緒に飾られました



3/23 日

必見

◎黒章肩袈取 威 胴丸

室町時代・15世紀

黒章を地の威とし、紅白の糸を用いて多様な威し方をみせる胴丸です



4 茶の美術

2/23 日

必見

◎一重口水指 銘 柴庵

信楽 安土桃山時代・16世紀
広田松繁氏寄贈

胴の歪みや自然釉による景色が魅力の、信楽を代表する水指です



2/25 火 - 5/18 日

茶入 銘 於大名

美濃 江戸時代・17世紀

塩原千代氏寄贈

小堀遠州が桂宮智仁親王より拝領したと伝えられる茶入です



本館 ⑤ 室

武士の装い
— 平安～江戸

本館 ④ 室

茶の美術

3 - 3 禅と水墨画 — 鎌倉～室町

2/11 火・祝

3/23 日

必見

本館 ③-3 室

禅と水墨画
— 鎌倉～室町

◎仏国国師(高峰顕日)像

自賛 鎌倉時代・14世紀

栃木・雲巖寺蔵

南浦紹明とともに13世紀末の日本禅宗界を代表する高僧の肖像画です



3/25 火

5/6 火・休

必見

本館 ③-2 室

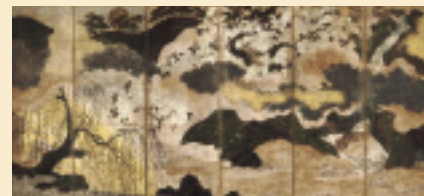
宮廷の美術
— 平安～室町

3 - 2 宮廷の美術 — 平安～室町

3/25 火 - 5/6 火・休

◎日月山水図屏風

室町時代・16世紀



胡粉で盛り上げた桜など、美しい春の景を描く室町時代やまと絵屏風の代表作

本館 ③-1 室

仏教の美術
— 平安～室町

2 国宝室



2/25 火 - 3/23 日

◎伝藤原光能像

鎌倉時代・13世紀

京都・神護寺蔵

継ぎ目の無い大幅の一枚絹に、ほぼ等身で描かれた破格の肖像

必見



1/28 火 - 2/23 日

◎秋冬山水図

雪舟等楊筆

室町時代・15世紀末～16世紀初

画面の下端から見てゆくと、近景から遠景へとモチーフを順にたどってゆくことができます

必見



2/11 火・祝 - 3/23 日

◎後白河法皇像

鎌倉時代・13世紀 京都・妙法院蔵

堂々たる王者の風格がたたayo、後白河法皇の肖像。花鳥を描く背後の襖絵にも注目

必見

3 - 1 仏教の美術 — 平安～室町

2/11 火・祝 - 3/23 日

◎玄奘三蔵像

鎌倉時代・14世紀

仏法を求めて旅をする玄奘の姿を表したものとされる画像です



必見

入口

本館 ①-3 室

日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

本館 ①-2 室

仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

本館 ② 室

国宝室

1 - 1 日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳

6/15 日

必見

◎遮光器土偶

縄文時代(晩期)・前1000～前400年 宮城県大崎市田尻蕪栗字恵比須田出土
顔からはみ出すような目が特徴的ですが、全身を覆う巧みな文様も必見



必見

◎銅鐸

弥生時代(後期)・1～3世紀 和歌山県みなべ町西本庄出土
多彩な幾何学文で飾られた大型の銅鐸。これぞ弥生の様式美



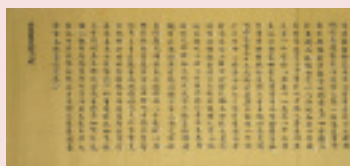
1 - 2 仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

2/11 火・祝 - 3/23 日

◎薬師如来立像

奈良時代・8世紀
北又留四郎氏他2名寄贈

那智山経塚から出土した金銅仏群中の異色作で、着衣形式が古様です



◎不空羼索神呪心経

奈良時代・8世紀 奈良・西大寺蔵
あらゆる病・心身の苦悩・悪夢を除く功德や、それを成就する法などを記した經典です

必見

7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

2/11 火祝 — 3/23 日

特別展

「支倉常長像と南蛮美術
— 400年前の日欧交流 —」

*本誌3ページ参照

はせくらつねがさう
支倉常長像

必見

アルキター・リッチ作

17世紀 イタリア・個人蔵

ヨーロッパ人画家によって描かれた
最も古い「武士」の肖像

5

6

武士の装い
— 平安～江戸

◎黒漆打刀(◎太刀 銘 弘の拵)

室町時代・16世紀 渡辺義介氏寄贈

上杉家に伝来した外装で、
中身の備前一字派の作と
される刀剣も展示されます

8 -1

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

— 3/23 日

おめでたい文様や梅・椿など冬に因んだ意匠の
品々をご覧ください。はつねまきえげんしだんす
初音時絵源氏草苧

江戸時代・18世紀

源氏物語」の冊子を取る草苧で、引出し
に54帖の題名を記していますしせいおきもの たか
自在置物 鷹

明珍清春作

江戸時代

18～19世紀

自在置物とは動物な
どを写実的に表現し、
体の各部が動くよう
にしたものいろえづきずひらばう
色絵椿図平鉢

伊万里

(古九谷五彩手)

江戸時代・17世紀

広田松繁氏寄贈

大胆な構図と濃厚
な色彩による、五
彩手独特の気迫に
満ちた意匠です

8 -2

書画の展開
— 安土桃山・江戸

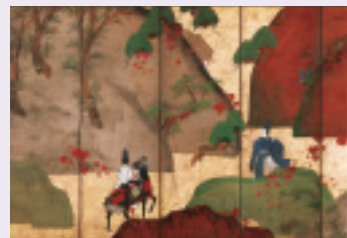
— 2/23 日

「クリーブランド美術館展」でも、
蘆舟の同じ画題の作品が展示されます。

*本誌4ページ参照

つた ほそみち ずいぶ
◎鳥の細道図屏風

深江蘆舟筆 江戸時代・18世紀

峠道で、男が遠く都の恋人への手紙を託す
『伊勢物語』の絵画

七言絶句

西郷隆盛筆

明治時代・19世紀 馬嘉瑞園氏寄贈

西郷が明治政府の職を辞して、鹿児島に
隠棲した際の感慨を述べた詩

2/25 火 — 4/6 日

かんおう ずいぶ
観桜図屏風

住吉具慶筆 江戸時代・17世紀

西脇健治氏寄贈

散ればこそ／いとど桜は／
めでたけれ／憂き世になにか／
久しかるべきまくらん
桜賦

佐久間象山筆 江戸時代・19世紀

会津秀雄氏寄贈

幕末の思想家象山が書いた桜を
讃える文章

9

能と歌舞伎

2/25 火

4/20 日

能「西行桜」に見る面・装束

◎素襦 明黄麻地宝尽模様

室町～安土桃山時代・16世紀

岐阜・春日神社蔵

中世の型紙で小紋模様を染めた
珍しい素襦— 2/23 日 能のデザインに
見る吉祥模様からおり べにじ はなびききつこうつるびし ろう
唐織 紅地花菱亀甲鶴菱模様

安土桃山時代・16世紀

奈良・金春座伝来

長寿の象徴である亀甲模様で、鶴
を夫婦向かい合わせに表しています

【衣装】

— 2/23 日

日本の吉祥模様を
デザインした着物を
展示します。ふりそで しりんずん じくもみ す
振袖 白輪子地雲御簾

橋 模様

江戸時代・19世紀

袖の長い大振袖は江戸時
代後期の町方女性の間で
大流行

2/25 火

4/20 日

桜を中心とした草花模様の
小袖や打掛など

◎小袖 茶平絹地椿枝垂柳掛軸模様

江戸時代・18世紀

柳の枝に掛軸をかけた、風雅な趣のある
友禅模様

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

1/28 火 — 2/23 日

梅や雪を描いた季節感に
富んだ風景画や美人画

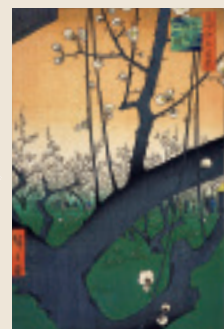
名所江戸百景・

かめいどうめ やしき

電戸梅屋鋪

歌川広重筆 江戸時代・安

政4年(1857)

ゴッホが模写したことでも
よく知られる作品

2/25 火 — 3/23 日

風景画のほか、花鳥画や
歴史画など幅広い分野の
歌川広重作品つき かり
月に雁

歌川広重筆

江戸時代・19世紀

切手の原画になったことで
よく知られる作品

アジアを
旅する東洋館 5室
「中国の陶磁」

日本に伝わった龍泉窯の名碗

青磁輪花碗 銘馬蝗絆

1月15日(水)～5月11日(日)



青磁輪花碗 銘馬蝗絆

龍泉窯 南宋時代・13世紀 三井高大氏寄贈

日本に伝えられた龍泉窯の青磁の優品。
鉢に秘められた伝説とは…東洋館 8室
「中国の書跡」

画家と実業家が集めた優品の数々

特集陳列

中村不折と高島菊次郎

2月4日(火)～4月6日(日)

中村不折(一八六六～一九四三)は洋画家として活躍するが、自作の画を売却して書に関わる文化財を収集しました。明治の中頃から四十年余りにわたって収集した一万点以上にのぼるコレクションには、世界的に著名な優品が数多くあります。

王子製紙の社長を務めた高島菊次郎(一八七五～一九六九)

地黄湯帖図

王献之筆

原跡・東晋時代・4世紀
台東区立書道博物館蔵

精巧に作られた貴重なこの模本は、明治44年(1911)に文求堂を介して中村不折が入手しました



都尉節使あて尺牘

趙令時筆

北宋時代・11～12世紀
東京国立博物館蔵

王統に宛てた手紙です。趙令時の書は、蘇軾の影響を受けています



台東区立書道博物館の協力を得て、明治から昭和にかけての名品の数々を収集した中村不折と高島菊次郎のコレクションを特集いたします。中国の書の楽しさと奥深さを堪能ください。(富田淳)

東洋館 11室
「クメールの彫刻」

クメールの超絶技法

楣

通年展示



楣

カンボジア・ブラサート・スラウ アンコール時代・10世紀
フランス極東学院交換品

クメール王朝はヒンドゥー教や仏教を信仰して壮麗な寺院をつくりました

これは楣石と呼ばれる建物の入口上部を飾る横材です。本当に石でできているのか、と思わせるほど超絶の技を使って紙のように薄く彫り出された植物文様がぎっしりと表されています。中央には三つの象の頭があり、その上ではヒンドゥー教のインドラ神が片膝をつき、振り上げた右手には雷霆を持っています。カンボジアで九～十五世紀に栄えたクメール王朝は、アンコール地方を中心におびただしい数の都や王宮、寺院を築きました。ブラサート・スラウは、有名なアンコール・トムの北西約一〇キロにあるヒンドゥー教寺院です。(小泉恵英)

東洋館 13室
「アジアの民族文化」

これぞ「鬼の形相」!

メラネシアの宗教彫刻

1月15日(水)～4月13日(日)

メラネシアと呼ばれる太平洋西南部の島々では、祖霊や精霊の姿を表した木彫が盛んに作られてきました。ここで紹介する木製の仮面も祖霊信仰に関わるもので、成人儀礼や葬儀などで実際に着用されたものです。

仮面は赤・白・黒の彩色と、鋭い牙、大きな目、透彫りの板状鼻飾りなどによって、この世のものならぬ恐ろしい形相に仕上げられています。さらに、頭部から伸びる一對の飾りには、蛇のような動物が絡みつく様子を表現しています。豊かな創造力と祖霊への強い畏敬の念なくして、これほど奇想天外な造形とすさまじい迫力の仮面は作り得なかったことでしょう。(川村佳男)



仮面

19世紀後半
メラネシア、ニューブリテン島
森又七郎氏寄贈

目玉には「キャッツアイ」という緑色の巻貝の一部を嵌めこんでいます

宝物に 浸る

考古で 遊ぶ

●平成館 企画展示室

文化財を守る二つの修理

特集陳列

「東京国立博物館コレクションの 保存と修理」

3月4日(火)～3月30日(日)

文化財を守るために、東京国立博物館では文化財をとりまく環境(展示、輸送、収蔵等)の整備に重点をおいた活動を行っています。同時に年間約千件の文化財の調査診断を行い、約五百件の応急修理と、約百件の大掛かりな本格修理を行うことで、文化財を後世に伝える努力をしています。

本展示では、「観音三十三応身図」をはじめ

●法隆寺宝物館 第6室

古写経のなかで最も雄大な書風

賢愚経断簡(大聖武)

1月15日(水)～3月9日(日)

賢者と愚者について記した『賢愚経』巻第五を書写したものの断簡で、伝称筆者が聖武天皇であることから「大聖武」と呼ばれます。「大聖武」は、手鑑(手(筆跡)のアルバム)の筆頭にあげられるなど、古くから尊重され、愛好されてきました。

料紙に見える細かい粒は、釈迦の骨粉を混ぜたものと考えられ「茶毘紙」と言われていますが、実際は香木の粉末を漉き込んだものになります。

経文の肉太な筆致は、古写経のなかでも一番力強く雄渾です。近づいて拡大して見

めとする、近年に本格的な修理を終えた様々な分野の作品に加え、これまで紹介されることが少なかった応急修理を施された作品も併せて展示いたします。

(荒木臣紀)



観音三十三応身図

室町時代・15世紀

修理前のX線調査により旧補彩で塗り潰されていた図様が確認できました

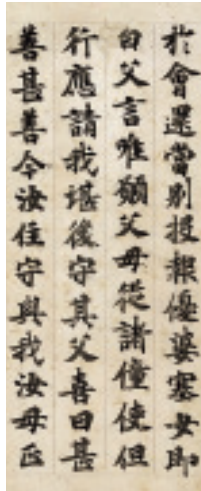


(部分)

賢愚経断簡(大聖武)

奈良時代・8世紀

「父」のななめの画など、太いけれどもすっきりとした筆致です



ると、その文字の太さと形を出すために、何度も筆を重ねたことがわかります。

(恵美千鶴子)

1000年後の未来に バトンタッチ！

保存と修理情報 21

いまでも福島県下で続く 文化財レスキュー事業

「福島県内被災文化財等救援事業」は、平成二十三年度、二十四年度の二カ年に渡り実施してきた東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業に引き続き、東北地方太平洋沖地震によって被災した福島県内の文化財等を保全し、廃棄・散逸を防止することを目的として平成二十五年九月から開始されました。

本事業では、福島県教育委員会及び同県被災文化財等救援対策本部が主体となり、独立行政法人国立文化財機構が日本博物館協会及び全国美術館会議の協力を得ながら本部

を支援し、四つの課題に取り組んでいます。それらは、帰宅困難区域にある資料館に残された資料の救出、救出対象となる文化財リストの作成、救出した資料の放射線及び保存環境等に関する対策、資料館外に所在する資料の救出です。その内、資料館からの移動は平成二十四年からの活動によってほぼ完了しました。今後は、救出した資料の除染に対する考え方や方法論の確立、公的施設の外に所在する資料の存在確認と移動を速やかに行う必要があります。

(神庭信幸)



双葉町歴史民俗資料館でのレスキュー作業。民具などの文化財の放射線量を測定し、安全確認ののち搬出しました

講演会

月例講演会「日本古代彫刻の表現方法」

日時:2月8日(土) 13:30～15:00

講師:丸山士郎(教育講座室長)

仏像や神像の表情の表し方を紹介します。そして、興福寺の八部衆・十大弟子像の表情から人間の生き方について考えたいと思います。

月例講演会「書の楽しみ」

日時:3月22日(土) 13:30～15:00

講師:島谷弘幸(副館長)

書は、見るだけでも楽しめる。読んでも楽しめる。時代の好みによって姿を変える書を、いろいろな見方で楽しめることをお話します。

※会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)。

※開場は開始の30分前(予定より早める場合もございます)。

列品解説

近畿の弥生文化

日時:2月4日(火) 14:00～14:30 本館特別1室

講師:品川欣也(考古室研究員)

個性的な近畿の弥生文化について
土器と青銅器を中心にご紹介します。

*関連展示:前号6ページ参照

ボクのトモダチ、
品川さんも
登場だほ!

東京国立博物館所蔵 大日如来坐像について

日時:2月18日(火) 14:00～14:30 本館11室

講師:鷲塚麻季(調査研究課主任研究員)

当館蔵、大日如来像について解説します。

江戸狩野の画風

日時:2月25日(火) 14:00～14:30 本館8室

講師:山下善也(絵画・彫刻室主任研究員)

徳川幕府の誕生によって京都から江戸に拠点を移した狩野派。新時代の到来を受け狩野探幽が生み、江戸の地に展開した画風の魅力を展示作品に探ります。

東京国立博物館コレクションの保存と修理

日時:3月4日(火) 14:00～14:30 平成館企画展示室

講師:土屋裕子(保存修復室長)

特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」のみどころ、当館で日々行っている保存と修理の活動をご紹介します。

*関連展示:本誌11ページ参照

東洋書画の修復と保存

日時:3月11日(火) 14:00～14:30

東洋館シアター

講師:鈴木晴彦(保存修復課アソシエイトフェロー)

掛軸や巻物に用いられる修復技術、展示や保管の工夫について様々な実例を交えながら解説します。

*関連展示:本誌11ページ参照

伝藤原光能像と中世の肖像画

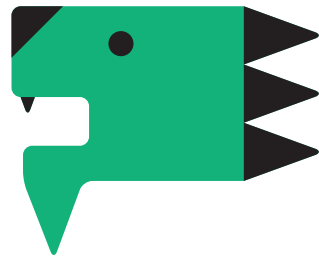
日時:3月18日(火) 14:00～14:30

東洋館シアター

講師:土屋貴裕(平常展調整室研究員)

神護寺に伝わった国宝・伝藤原光能像を中心に、中世における肖像画を描くことの意味とその機能を探ります。

*関連展示:本誌7ページ参照

●伝藤原光能像
鎌倉時代・13世紀
京都・神護寺蔵

みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

展示を支える修復技術—マウント、書見台、保存箱

日時:3月25日(火) 14:00～14:30 東洋館シアター

講師:米倉乙世(保存修復課アソシエイトフェロー)

作品の魅力を最大限引き出しつつ、安全性の高い展示を実現するために用いられる工夫について解説いたします。

*関連展示:本誌11ページ参照

日々の展示を支える
大切な技術ね。

長期保存に適した中性の保存箱



東京芸術大学大学院インターンによるギャラリートーク

例年好評の芸大生によるギャラリートーク。今年度は、本館、法隆寺宝物館、東洋館で実施します。芸大生による様々な切り口でのトークが皆様の興味につながり、鑑賞のお役に立てば幸いです。

秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた

—より強い救いを求めるかたち—

解説者:猪狩智子

日時:2月8日(土)、2月14日(金) 15:30～15:50

本館11室 集合:本館1階エントランス

とりは 止利派の半跏像—金銅仏鑑賞の楽しみ方—

解説者:任佳英

日時:2月5日(水)、2月11日(火) 15:30～15:50

法隆寺宝物館第2室 集合:法隆寺宝物館1階エントランス

こまめ 狛犬の世界—犬?ライオン?ふしぎな守護獣—

解説者:篠原英里

日時:2月2日(日)、2月9日(日) 15:30～15:50

本館11室 集合:本館1階エントランス

甲冑の美術—『黒草肩妻取 威 胴丸』—

解説者:武田侑子

日時:2月6日(木)、2月12日(水) 15:30～15:50

本館5室 集合:本館1階エントランス

ようせんじゅ 『揺銭樹』銭なる樹と大きな羊—古代四川文化の洗練、快活、多様性—

解説者:吉野利幸

日時:2月1日(土)、2月4日(火)、2月13日(木)、2月19日(水)、2月23日(日)
15:30～15:50

東洋館5室 集合:東洋館1階エントランス

*「東洋館シアター」とは、東洋館 TNM&TOPPAN ミュージアムシアターのことで。

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代表)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます、終了後はすみやかに破棄します。

ワークショップ・見学ツアー

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

貝合せに挑戦

本館での「貝桶と貝合せ」の展示にあわせ、本館のいろいろな展示作品のモチーフを使って、オリジナルデザインの貝合せを作ってみましょう。絵具ではなく、サインペン・和紙などを使いますのでお気軽にご参加下さい。

おとなのためのワークショップ

日時：①3月1日(土) 14:00~16:30 ②3月2日(日) 14:00~16:30

会場：平成館小講堂

対象：一般

定員：各回20名(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・年齢、(2)郵便番号・住所、(3)電話番号(4)希望の回(①・②のいずれか)を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

※1回の入力あるいは1枚のはがきで、①②のどちらか一方のみ申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育普及室「貝合せ」係

申込締切：2月13日(木) 必着

ファミリーワークショップ

日時：①3月1日(土) 10:00~12:30 ②3月2日(日) 10:00~12:30

会場：平成館小講堂

対象：小学生とご家族

定員：各回10組(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、一般の方は当日の入館料は必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームでお申込みください。

※1回の入力、①②のどちらか一方のみ申込可。

申込締切：2月17日(月) 必着

事前申込制 [往復はがき]

見学ツアー

「保存と修理の現場へ行こう」

特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」(3月4日(火)~3月30日(日) 本誌11ページ参照)に関連して、文化財の保存と修理についての解説および刀剣や書画の修理室等の見学ツアーを行います。

対象：一般

日時：①3月13日(木) 14:00~16:10 ②3月14日(金) 14:00~16:10

※内容は①・②ともに同じです。

会場：平成館企画展示室、修理室等

定員：各回20名(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要)

申込方法：往復はがきでお申込みください。往復はがきには、「往信用裏面」に(1)参加者の氏名・ふりがな・年齢、(2)郵便番号・住所、(3)電話番号(4)希望の回(①・②のいずれか)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

※1枚のはがきで、①②のどちらか一方のみ申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育講座室「保存ツアー」係

申込締切：2月10日(月) 必着



モチーフの組み合わせ次第でこんなに
きれいな作品も!

ユリノキちゃんのワンポイントコーナー

Q トーハクでドラマの撮影を
してるってほんと?

ユリノキちゃん：ふわあ、こんな遅くに何の音だよ?

ユリノキちゃん：コソコソ。

ユリノキちゃん：ユリノキちゃん!こんな時間に何してるの!

ユリノキちゃん：早く寝ない子は大きくなれないんだよ!

ユリノキちゃん：しー!静かに!ドラマの撮影をこっそり見学してるの。ユリノキちゃん

ユリノキちゃん：ドラマ...? 知ってるよ!「倍返しだ!」は!

ユリノキちゃん：……そうね。『半沢直樹』も本館の大階段!

ユリノキちゃん：……ユリノキちゃん?……気のせいかな、

いつもより説明がぞんざいだほ。

ユリノキちゃん：そ、そんなことないわよ。た、ただ今は……。

あの人気俳優さんを生で見られるチャンスなの。できればサインを……。

ユリノキちゃん：ドラマなら『半沢直樹』や『JIN』、映画なら『GANTZ』、CMや雑誌も含めて年間約200件!いまや定番ロケ地だほ。

ユリノキちゃん：そうね。

ユリノキちゃん：いったい、いつそんなにたくさん撮影してるのか不思議だほー?

ユリノキちゃん：……ユリノキちゃん?い、いつもみたいな解説はないほ?

ユリノキちゃん：そうね。

ユリノキちゃん：……じ、実はボク知ってるほ。閉館後から開館前、休館日などを使ってるんだほ!今日みたいに撮影が真夜中になることも!

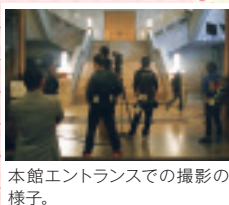
ユリノキちゃん：そうね。

ユリノキちゃん：……ユリノキちゃん……解説……。

ユリノキちゃん：そうね。

ユリノキちゃん：……ユ、ユリノキちゃんが俳優さんに夢中だほー!……ドラマや映画の中にも登場するトーハク。みんなもみつけてみてほ!

ユリノキちゃん：そうね。



本館エントランスでの撮影の様子。

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

「桜の根付作り」

本館の根付を見学した後に、粘土を加工して桜をテーマにしたオリジナルの根付を制作します。できあがったものはお持ち帰りいただけます。事前申込制です。

日時：3月23日(日) 13:30~15:30

会場：平成館小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：20名(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・性別・年齢、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

※1回の入力あるいは1枚のはがきで、2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室「3月23日根付作り」係

申込締切：2月24日(月) 必着



いろいろな色の樹脂の粘土でつくります。

粘土なららせて
欲しいほ!



本館15~19室リニューアル、いよいよ4月15日にオープン!

昨年末よりリニューアル工事を行っていた本館1階15~19室が、いよいよ4月15日(火)、オープンします。17室「保存と修理」と19室「みどりのライオン体験コーナー」を中心に新しくなった展示室の魅力をご紹介します。

Point 1

展示ケースと照明が新しく!

東洋館と同様に高透過・低反射のガラスを使ったケースを採用。照明も一部蛍光灯からLEDへと変わります。

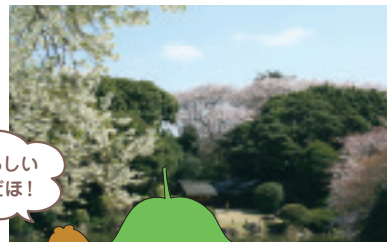
作品がもっときれいに
見えるようになるよ

Point 2

本館から庭園テラスへの 通行が可能に!

いままでは本館ラウンジからはドア越しに眺めることしかできなかった庭園テラスへの通行が可能に。疲れたら、外の空気を吸ってひと休み!

すばらしい眺めだほ!



Point 3

収蔵庫のヒミツが明らかに!?

展示室中央に「東博の臨床保存」について解説する大画面のモニターが出現!文化財を守る東博の収蔵庫の秘密が、作品の収蔵棚の再現によって明かされる!?そのほか、材質ごとに違う修理の手法についての展示など、「予防保存」と「修理保存」という保存修復の2大テーマに沿ってご紹介!

ボクのベッドルームの
秘密!?なんだほー?
ZZZ...

Point 4

「みんなで楽しむ教育 スペース」が言葉!

作品の3D画像をグルグル回して観ることができる「トーハクをまわそう」、国立博物館が所蔵する国宝などの高精細画像を大画面でご覧いただける「トーハクで国宝をさぐる」などなど、盛りだくさんの内容です!



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。
*お申込は随時受け付けております。

◎年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円 / 個人 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2013年12月17日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロックス株式会社 様
サロ・ド・ソネット 様
シティバンク銀行株式会社 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットインシアティ 様
株式会社 小西美術工芸社 様
公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アクト・ヒューマンリッド 様
キューリン製菓ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスパウ・ハン・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
楽天銀行株式会社 様
株式会社 ケンエレファント 様
株式会社 清光社 様

維持会員個人

木村 則子 様 榎田 良豊 様 是常 博 様 友景 紀子 様 小西 晴也 様 土師 昭三 様 木越 純 様 筑紫 みずえ 様 笹森 美子 様 小日向 志乃 様 青山 慶子 様 江幡 真史 様
高木 聖鶴 様 長谷川 英樹 様 上野 孝一 様 北山 喜立 様 渡谷 洋志 様 井上 保雄 様 鳥山 玲 様 高橋 明子 様 谷内 英一 様 石原 正之 様
早乙女 節子 様 池田 孝一 様 山田 泰子 様 山田 隆子 様 山本 雅司 様 岡 靖子 様 山本 雅司 様 新保 幸男 様 横田 隆義 様 石原 正之 様
伊藤 信彦 様 木村 剛 様 網村 安代 様 網村 博子 様 網村 博子 様 網村 博子 様 網村 博子 様 網村 博子 様 網村 博子 様 網村 博子 様
井上 萬里子 様 星 望 様 久保 順子 様 久保 順子 様 久保 順子 様 久保 順子 様 久保 順子 様 久保 順子 様 久保 順子 様
数内 匡人 様 波辺 章 様 福垣 哲行 様 福垣 哲行 様 福垣 哲行 様 福垣 哲行 様 福垣 哲行 様 福垣 哲行 様 福垣 哲行 様
服部 悦子 様 服部 悦子 様 服部 悦子 様 服部 悦子 様 服部 悦子 様 服部 悦子 様 服部 悦子 様 服部 悦子 様 服部 悦子 様
若沢 重美 様 若沢 重美 様 若沢 重美 様 若沢 重美 様 若沢 重美 様 若沢 重美 様 若沢 重美 様 若沢 重美 様 若沢 重美 様
高田 朝子 様 高田 朝子 様 高田 朝子 様 高田 朝子 様 高田 朝子 様 高田 朝子 様 高田 朝子 様 高田 朝子 様 高田 朝子 様
齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様
齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様 齋藤 邦治 様
和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様 和泉 喜美子 様
佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様 佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様 藤原 紀男 様 藤原 紀男 様 藤原 紀男 様 藤原 紀男 様 藤原 紀男 様 藤原 紀男 様 藤原 紀男 様 藤原 紀男 様
中川 俊光 様 中川 俊光 様 中川 俊光 様 中川 俊光 様 中川 俊光 様 中川 俊光 様 中川 俊光 様 中川 俊光 様 中川 俊光 様
関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様 関谷 徳衛 様
高橋 守 様 高橋 守 様 高橋 守 様 高橋 守 様 高橋 守 様 高橋 守 様 高橋 守 様 高橋 守 様 高橋 守 様
小澤 桂一 様 小澤 桂一 様 小澤 桂一 様 小澤 桂一 様 小澤 桂一 様 小澤 桂一 様 小澤 桂一 様 小澤 桂一 様 小澤 桂一 様
上久保 のり子 様 上久保 のり子 様 上久保 のり子 様 上久保 のり子 様 上久保 のり子 様 上久保 のり子 様 上久保 のり子 様 上久保 のり子 様 上久保 のり子 様

15 表紙:源氏物語絵合・胡蝶図屏風のうち 胡蝶図(部分) 狩野晴川院(養信)筆 江戸時代・19世紀、ほか(詳細は本誌2ページ)

2014・2

東京国立博物館 2014年2月・3月の展示・催し物

2014・3

1 土	【国宝】トークイベント「日本の工芸を語る」13:00 平成館大講堂*1 樹 13:30 本 14:00 芸 「『揺銭樹』銭なる樹と大きな羊」15:30 東洋館5室*2
2 日	【クリ】講「笑う美術館館長 名画を語る」13:30 平成館大講堂*1 芸「狛犬の世界」15:30 本館11室*2 作 13:30*1
3 月	休館日
4 火	列「近畿の弥生文化」14:00 本館特別1室*2 建 11:00 芸「『揺銭樹』銭なる樹と大きな羊」15:30 東洋館5室*2
5 水	芸「止利派の半跏像」15:30 法隆寺宝物館第2室*2
6 木	芸「甲冑の美術」15:30 本館5室*2
7 金	法 15:00
8 土	講「日本古代彫刻の表現方法」13:30 平成館大講堂*2、「トーハク探検ツアー-法隆寺のたからもの編」10:30 法隆寺宝物館*1、「みんなでみる法隆寺献納宝物入門」14:00 法隆寺宝物館*1 英 14:00 陶 14:30 浮「秋篠寺「十一面観音菩薩立像」のみかた」15:30 本館11室*2
9 日	トーハク探検ツアー-法隆寺のたからもの編 10:30 法隆寺宝物館*1「みんなでみる法隆寺献納宝物入門」14:00 法隆寺宝物館*1 浮 14:00 芸「狛犬の世界」15:30 本館11室*2
10 月	休館日
11 火・祝	特別展「支倉常長像と南蛮美術」 芸「止利派の半跏像」15:30 法隆寺宝物館第2室*2
12 水	樹 13:30 浮 14:00 芸「甲冑の美術」15:30 本館5室*2
13 木	本 14:00 庭 14:00 芸「『揺銭樹』銭なる樹と大きな羊」15:30 東洋館5室*2
14 金	英 14:00 芸「秋篠寺「十一面観音菩薩立像」のみかた」15:30 本館11室*2
15 土	建 11:00 本 12:00, 14:00 樹 13:30 法 15:00
16 日	【国宝】W「陶芸:上絵付け体験」13:30 平成館小講堂*1 浮 14:00 考 14:30
17 月	休館日
18 火	列「東京国立博物館所蔵 大日如来坐像について」14:00 本館11室*2 建 11:00
19 水	芸「『揺銭樹』銭なる樹と大きな羊」15:30 東洋館5室*2
20 木	彫 15:00
21 金	法 15:00
22 土	陶 14:30
23 日	彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00 芸「『揺銭樹』銭なる樹と大きな羊」15:30 東洋館5室*2 「クリーブランド美術館展」「人間国宝展」
24 月	休館日
25 火	列「江戸狩野の画風」14:00 本館8室*2
26 水	樹 13:30
27 木	本 14:00
28 金	

【国宝】=人間国宝展関連事業 【クリ】=クリーブランド美術館展関連事業

★=「博物館でお花見を」関連事業

*1 事前申込制。申込は締切りました

*2 詳細は本誌12ページ

*3 事前申込制。詳細は本誌13ページ

*4 有料イベント。詳細は本誌3ページ

*5 詳細は本誌3ページ

*6 詳細は本誌2ページ

*7 事前申込制。詳細は本誌3ページ

※屋外で実施するツアー・ガイド等は雨天の場合中止することがあります。

1 土	W「貝合せに挑戦」ファミリー 10:00 おとな 14:00 平成館小講堂*3 樹 13:30 本 14:00
2 日	W「貝合せに挑戦」ファミリー 10:00 おとな 14:00 平成館小講堂*3
3 月	休館日
4 火	列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」14:00 平成館企画展示室*2 建 11:00
5 水	
6 木	
7 金	法 15:00
8 土	英 14:00 陶 14:30 春の庭園開放
9 日	浮 14:00
10 月	休館日
11 火	列「東洋書画の修復と保存」14:00 東洋館シアター*2
12 水	樹 13:30 浮 14:00
13 木	見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」14:00*3 本 14:00 庭 14:00
14 金	見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」14:00*3 英 14:00
15 土	建 11:00(手話通訳付) 本 12:00, 14:00 樹 13:30 法 15:00 ♪東博でバツハvol.17 14:00 平成館ラウンジ*4
16 日	茶 12:30, 14:00 浮 14:00 考 14:30
17 月	休館日
18 火	列「伝藤原光能像と中世の肖像画」14:00 博物館でお花見を 東洋館シアター*2 建 11:00 ♪桜コンサート 11:00 正門内池前*5
19 水	★列「絵画に咲く桜」14:00 本館8室*6 ♪東博でバツハvol.18 19:00 法隆寺宝物館*4
20 木	★彫 15:00
21 金・祝	法 15:00
22 土	講「書の楽しみ」13:30 平成館大講堂*2 ★建 11:00 ★茶 11:00, 13:00*7 ★陶 14:30
23 日	★彫 11:00 ★探 12:00 ★作 13:30*3 ★庭 14:00 浮 14:00 特別展「支倉常長像と南蛮美術」
24 月	休館日
25 火	列「展示を支える修復技術——マウント、書見台、 保存箱」14:00 東洋館シアター*2 ♪桜コンサート 13:00 法隆寺宝物館*5
26 水	★樹 13:30 ★列「着物に咲く桜」14:00 本館10室*6 ♪東博でバツハvol.19 19:00 法隆寺宝物館*4
27 木	★庭 14:00 ★本 14:00
28 金	夜間開館(20:00まで)
29 土	時間延長(18:00まで) ★W「桜ワークショップ」11:00~15:00 平成館ラウンジ*6 ★建 11:00 ★庭 14:00 ♪桜セミナー 13:30 平成館大講堂*6
30 日	時間延長(18:00まで) ★W「桜ワークショップ」11:00~15:00 平成館ラウンジ*6 ★英 14:00
31 月	休館日 (A/13まで) (4/13まで) (5/18まで) ▼▼▼

講=月例講演会等、詳細は本誌12ページ

列=列品解説、詳細は本誌12ページ

W=ワークショップ、詳細は本誌13ページ

★=東京芸術大学大学院インターンによるギャラリートーク

本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス

浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス

陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス

彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス

樹=ボランティアによる樹木ツアー(庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します。)、集合場所:本館1階エントランス

考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口

法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス

茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、各回開始30分前に集合場所で整理券配布)

庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(先着20名、各回開始30分前に集合場所で整理券配布)

英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス

建=ボランティアによるたてももの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス

作=ボランティアによるアートスタジオ(詳細は本誌13ページ)

探=ボランティアによる本館まるごとたんけんツアー、集合場所:本館1階エントランス